

# 「Can-do リスト」の形での 学習到達目標の設定と授業改善

グローバル化に対応した  
中学校英語指導力アップ研修  
広島市教育センター

(H27. 6. 4)

初等中等教育局 国際教育課  
外国語教育推進室

平木 裕



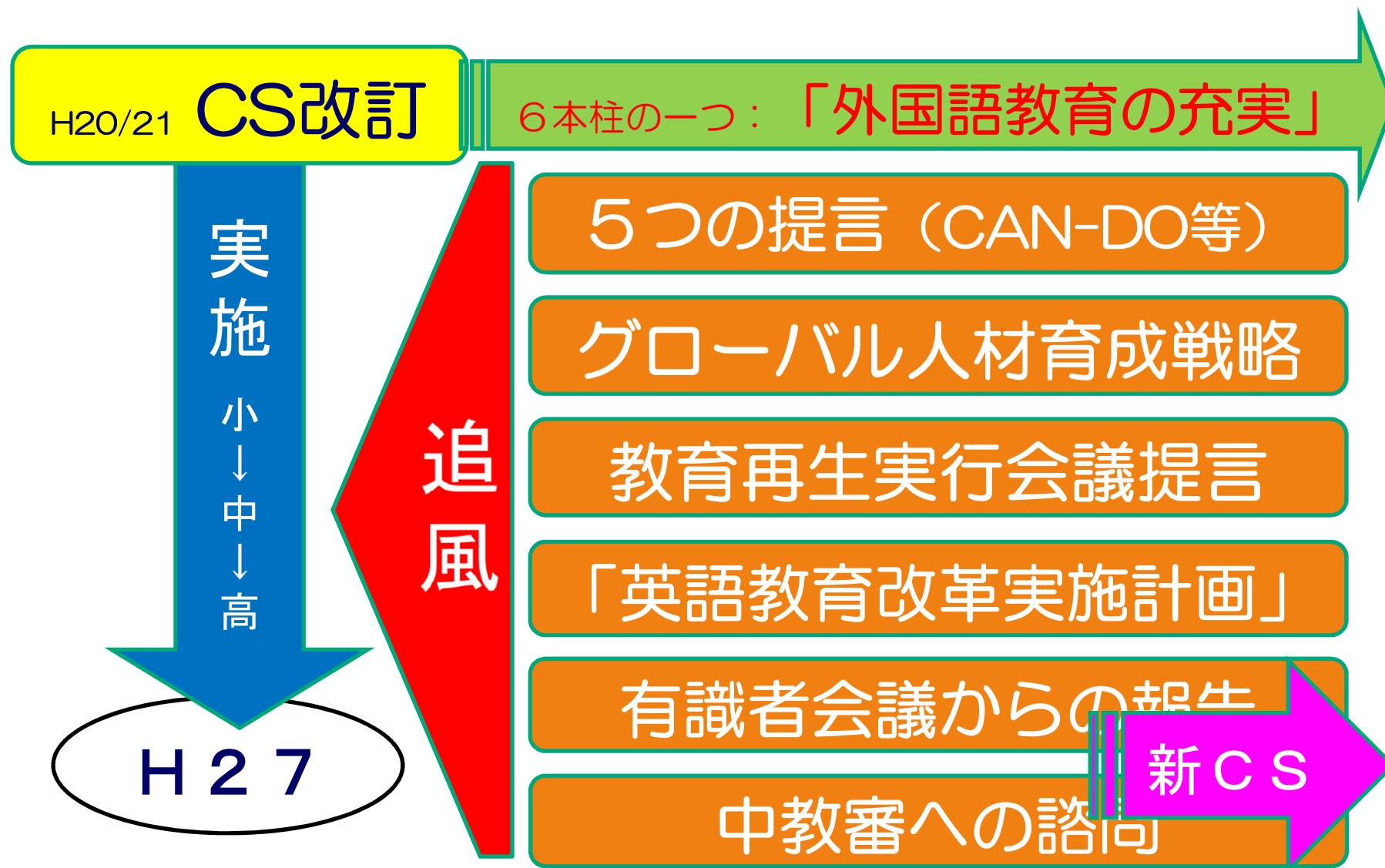
文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# お話の柱

- 変革期の外国語教育
- 新教育課程  
～この3年間の成果と課題～
- 指導と評価の工夫  
～CAN-DOリストの設定と活用～

# 外国語教育 変革のうねり





# 「英語教育の在り方に関する 有識者会議」報告

文科省HPからダウンロード可能！

今後の英語教育の改善・  
充実方策について 報告  
～グローバル化に対応した  
英語教育改革の5つの提言～



# 「英語教育の在り方に関する 有識者会議」報告

---

- 改革 1. 国が示す教育目標・内容の見直し
- 改革 2. 学校における指導と評価の改善
- 改革 3. 高等学校・大学の英語力の評価  
及び入学者選抜の改善
- 改革 4. 教科書・教材の充実
- 改革 5. 学校における指導体制の充実

# 「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告」のポイント

## ○ 改革 1. 国が示す教育目標・内容の改善

- ①小・中・高等学校の学びを円滑に接続させる
- ②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標を示す
  - ・小学校3・4年生：活動型を開始し、音声に慣れ親しむ
  - ・小学校5・6年生：身近なことについて基本的表現によって4技能を積極的に使える英語力を身に付ける
  - ・中学校：授業は英語で行うことを基本とし、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を重視
  - ・高等学校：授業を英語で行うことを基本とし、言語活動を高度化（幅広い話題について発表、討論、交渉等）

## ○ 改革 2. 学校における指導・評価

- ・英語を使って何ができるようになるかという観点からCAN-DO形式の学習到達目標に基づく指導と学習評価

## ○ 改革 3. 高等学校・大学の英語力の評価及び入学者選抜の改善

- ・入学者選抜における英語力の測定において、4技能のコミュニケーション能力を適切に評価
- ・4技能を測定する資格・検定試験の活用促進。学校、専門家、資格・試験団体等が参画する協議会を設置し必要な情報発信、指針づくり(学習指導要領との関係、換算方法、受験料・場所、適正・構成な実施体制等)等

## ○ 改革 4. 教科書・教材の改善

- ・学習指導要領に沿った教科書検定
- ・音声や映像を含めたデジタル教科書・教材の検討

## ○ 改革 5. 学校における指導体制の充実

- ・現職教員の研修(大学・外部専門機関との連携による地域の中心となる「英語教育推進リーダー」等の養成)
- ・教員養成(カリキュラムの開発・改善、「免許法認定講習」開設支援、等)、英語指導力のある教員採用
- ・外部人材の活用促進(ALT、非常勤講師、特別免許状の活用)

## 改革1. 国が示す教育目標・内容の改善

○ 学習指導要領では、小・中・高を通して①各学校段階の学びを円滑に接続させる、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標(4技能に係る具体的な指標の形式の目標を含む)を示す(具体的な学習到達目標は各学校が設定)。

○ 高等学校卒業時に、生涯にわたり「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を積極的に使えるようになる英語力を身に付けることを目指す。

あわせて、生徒の英語力を把握し、きめの細かな指導の改善・充実や生徒の学習意欲の向上につなげるため、従来から設定されている英語力の目標(学習指導要領に沿って設定される目標(中学校卒業段階:英検3級程度以上、高等学校卒業段階:英検準2級程度から2級程度以上)を達成した中・高生の割合50%)だけでなく、高等学校段階の生徒の特性・進路等に応じた英語力、例えば、高等学校卒業段階で、英検2～準1級、TOEFL iBT60点前後以上等を設定し、生徒の英語力の把握・分析・改善を行うことが必要。

・小学校：中学年から外国語活動を開始し、音声に慣れ親しませながらコミュニケーションの素地を養うとともに、ことばへの関心を高める。高学年では身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことなどに加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。学習の系統性を持たせるため教科として行うことが求められる。小学校の英語教育に係る授業時数や位置づけなどは、今後、教育課程の全体の議論の中で更に専門的に検討。

・中学校：身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うコミュニケーション能力の養成を重視する。

・高等学校：幅広い話題について発表・討論・交渉などを行う言語活動を豊富に体験し、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を高める。

## 改革2. 学校における指導と評価の改善

- 英語学習では、失敗を恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成することが重要。  
中学校・高等学校では、主体的に「話す」「書く」などを通じて互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を展開することが重要。  
また、生徒が英語に触れる機会を充実し、中学校の学びを高等学校へ円滑につなげる観点から、中学校においても、生徒の理解の程度に応じて、授業は英語で行うことを基本とする。
- 各学校は、学習指導要領を踏まえながら、4技能を通じて「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、学習到達目標を設定(例:CAN-DO形式)し、指導・評価方法を改善。併せて主体的な学びにつながる「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を重視し、観点別学習状況の評価において、例えば、「英語を用いて～ができる」とする観点を「英語を用いて～しようとしている」とした評価を行うことによって、生徒自らが主体的に学ぶ意欲や態度などを含めた多面的な評価方法等を検証・活用。
- 小学校高学年で教科化する場合、適切な評価方法については先進的取組を検証し、引き続き検討。



### 改革3. 高等学校・大学の英語力の評価及び入学者選抜の改善

- 生徒の4技能の英語力・学習状況の調査・分析を行い、その結果を、教員の指導改善や生徒の英語力の向上に生かす。
- 入学者選抜における英語力の測定は、4技能のコミュニケーション能力が適切に評価されることが必要。
- 各大学等のアドミッション・ポリシーとの整合性を図ることを前提に、入学者選抜に、4技能を測定する資格・検定試験の更なる活用を促進。そのため、学校、テスト理論等の専門家、資格・試験関係団体等からなる協議会を設置し、
  - ・適切な資格・検定試験の情報提供、
  - ・指針づくり(学習指導要領との関係、評価の妥当性、換算方法、受験料・場所、適正/公正な実施体制等)、
  - ・試験間の検証、英語問題の調査・分析・情報提供等の取組を早急に進めることが必要。
- 「達成度テスト」の具体的な検討を行う際には、連絡協議会の取組を参考に英語の資格・検定試験の活用の在り方も含め検討。

### 改革4. 教科書・教材の充実

- 小学校高学年で教科化する場合、学習効果の高いICT活用も含め必要な教材等を開発・検証・活用。
- 主たる教材である教科書を通じて、説明・発表・討論等の言語活動により、思考力・判断力・表現力等が一層育成されるよう、次期学習指導要領改訂においてそのような趣旨を徹底するとともに、教科用図書検定基準の見直しに取り組む。
- 国において音声や映像を含めた「デジタル教科書・教材」の導入に向けた検討を行う。
- ICT予算に係る地方財政措置を積極的に活用し、学校の英語授業におけるICT環境を整備。

## 改革5. 学校における指導体制の充実

- 地域の大学・外部専門機関との連携による研修等の実施や、地域の指導的立場にある教員が英語教育担当指導主事や外部専門家等とチームを組んで指導に当たることなどにより、地域全体の指導体制を強化。地域の中心となる英語教育推進リーダー等の養成、定数措置などの支援が必要。
- 各学校では、校長のリーダーシップの下で、英語教育の学校全体の取組方針を明確にし、中核教員等を中心とした指導体制の強化に取り組むことが重要。
- 小学校の学びを中学校へ円滑に接続させるため、小中連携の効果が期待される相互乗り入れ授業、カリキュラムづくり、指導計画作成などを行う合同研修など実質的な連携促進が必要。
- 小学校の中学年では、主に学級担任が外国語指導助手(ALT)等とのチーム・ティーチングも活用しながら指導し、高学年では、学級担任が英語の指導力に関する専門性を高めて指導する、併せて専科指導を行う教員を活用することにより、専門性を一層重視した指導体制を構築。小学校教員が自信を持って専科指導に当たることが可能となるよう、「免許法認定講習」開設支援等による中学校英語免許状取得を促進。英語指導に当たる外部人材、中・高等学校英語担当教員等の活用を促進。
- 2019(平成31)年度までに、すべての小学校でALTを確保するとともに、生徒が会話、発表、討論等で実際に英語を活用する観点から中・高等学校におけるALTの活用を促進。
- 大学の教員養成におけるカリキュラムの開発・改善が必要。例えば、
  - ・小学校における英語指導に必要な基本的な英語音声学、英語指導法、チーム・ティーチングを含む模擬授業、教材研究、小・中連携に対応した演習や事例研究等の充実、
  - ・中・高等学校において授業で英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な英語音声学、第2言語習得理論等を含めた英語学、4技能を総合的に指導するコミュニケーションの科目の充実等を、英語力・指導力を充実する観点から改善することが必要。今後、教員養成の全体の議論の中で検討。同時に、小学校の専科指導や中・高等学校の言語活動の高度化に対応した現職教員の研修を確実に実施。

# 中央教育審議会への諮問

「初等中等教育における教育課程の  
基準等の在り方について」

小学校から高等学校までを通じて達成を目指すべき教育目標：

「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、四技能に係る一貫した具体的な指標の形式で示す

## 小学校

中学年：外国語活動を開始し音声に慣れ親しませる。

高学年：学習の系統性を持たせる観点から教科として行い、身近で簡単なことについて互いの考えや気持ちを伝え合う能力を養う。

## 中学校

授業は英語で行うことを基本とし、身近な話題について互いの考えや気持ちを伝え合う能力を高める。

## 高等学校

幅広い話題について発表・討論・交渉などを行う能力を高める。

## 中学校

○授業は英語で行うことを基本

○身近な話題について互いの考え  
や気持ちを伝え合う能力

4技能の統合的な活用！

新教育課程の振り返り！



# 中学校改訂のポイント

---

## <言語活動の充実について>

- (語, 連語及び慣用表現)「活用することを通して定着を図る」
- (文法事項)「実際に活用できるように指導すること」

## 中学校改訂のポイント

「実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」

- (語, 連語及び慣用表現)「活用することを通して定着を図る」
- (文法事項)「実際に活用できるように指導すること」





# 高等学校改訂のポイント

---

**「授業は英語で行うことを基本とする」**

(ねらい)

- 生徒が英語に触れる機会を充実する
- 授業を実際のコミュニケーションの場面とする

(配慮事項)

- 生徒の理解の程度に応じた英語を用いる



# 高等学校改訂のポイント

---

**「授業は英語で行うことを基本とする」**

(ねらい)

生徒の英語による言語活動を  
中心に展開する授業

# 高等学校改訂のポイント

小・中・高共通の授業スタイル！

「授業は英語を中心とする」

(ねらい)

生徒の英語による言語活動を  
中心に展開する授業



# 高校の授業はどう変わった？

＜授業での英語使用率(半分以上が英語)＞

■ H22

教員 14.8% 生徒 14.7%



■ H25

教員 53.2% 生徒 41.4%

※「英語教育実施状況調査」(H25)より



## ちなみに中学校では・・・

---

～英語教育実施状況調査(H25,26)より～

☆教員の英語使用 ※発話の半分以上が英語

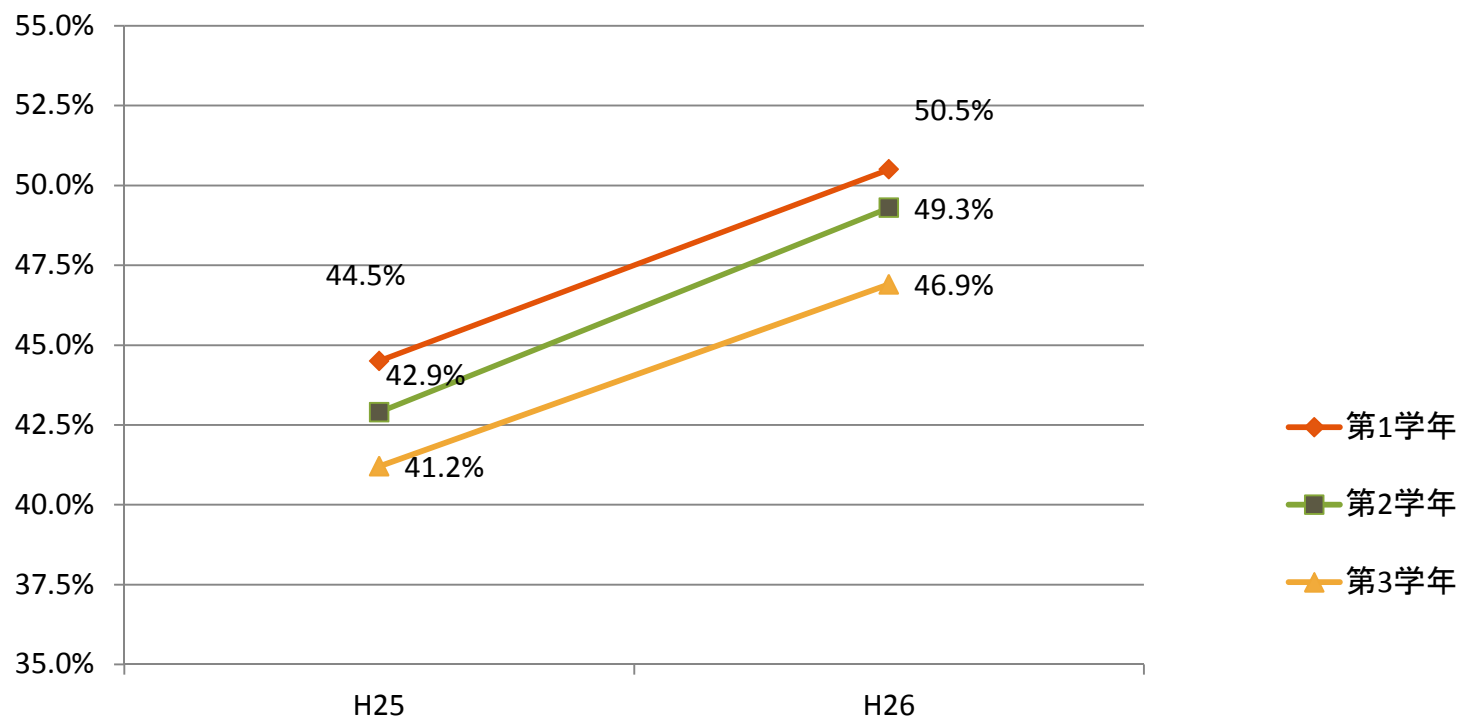
1年 44.5% ⇒ 50.5%

2年 42.9% ⇒ 49.3%

3年 41.2% ⇒ 46.9%

# ちなみに中学校では・・・

## 英語担当教員の英語使用状況





# ちなみに中学校では・・・

---

## ☆生徒の英語力

中学生 英検3級以上:

25.5 % (H24)

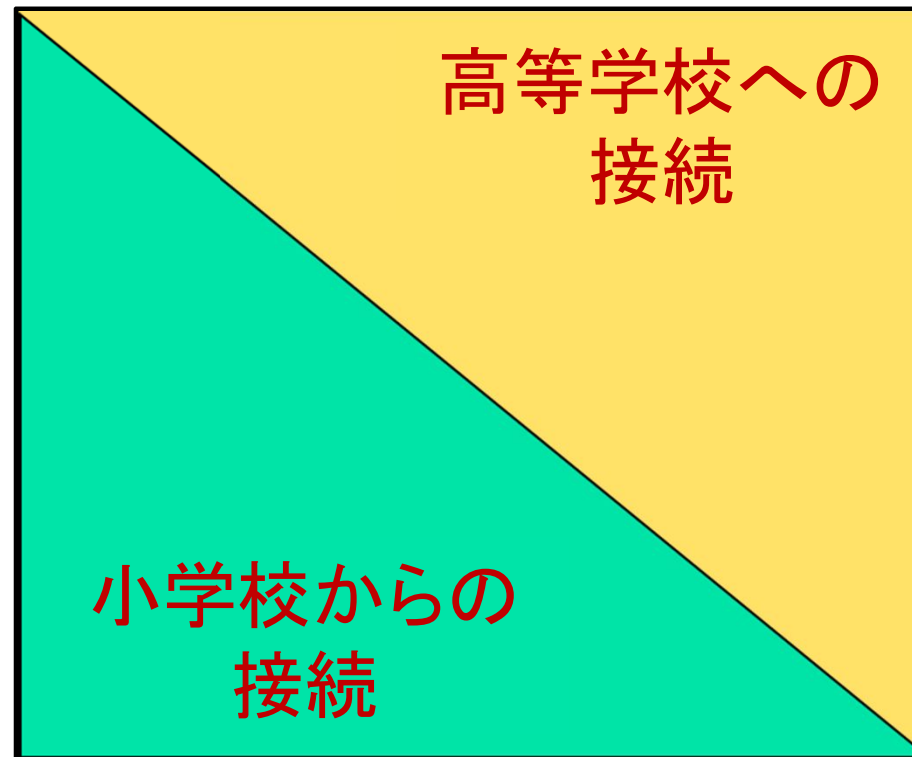
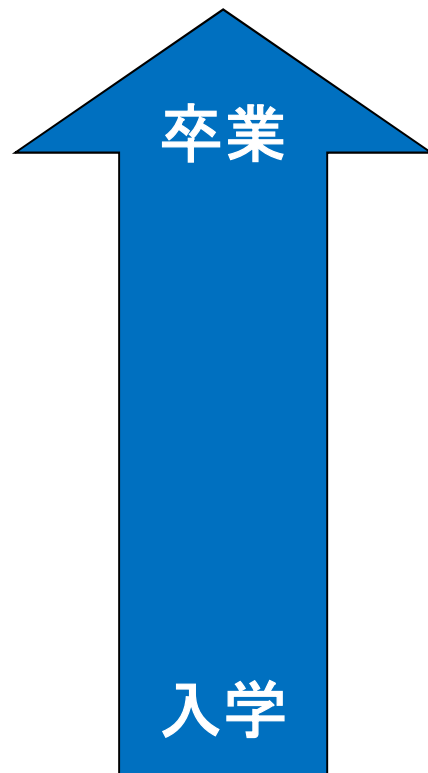
31.2 % (H25)

32.2 % (H26)

34.6 % (H27)



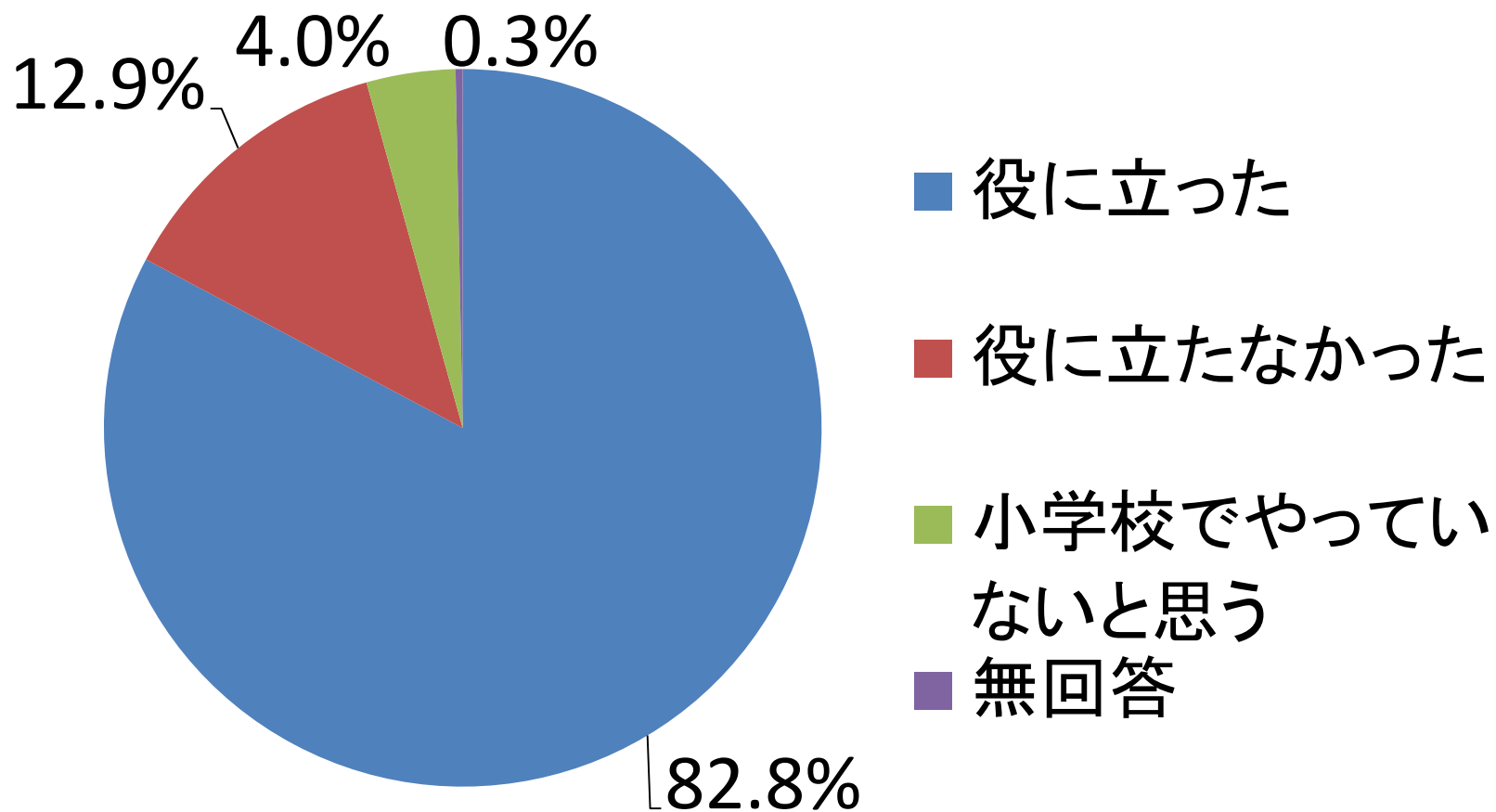
# 接続を意識した授業改善





## 小学校英語が役に立ったこと

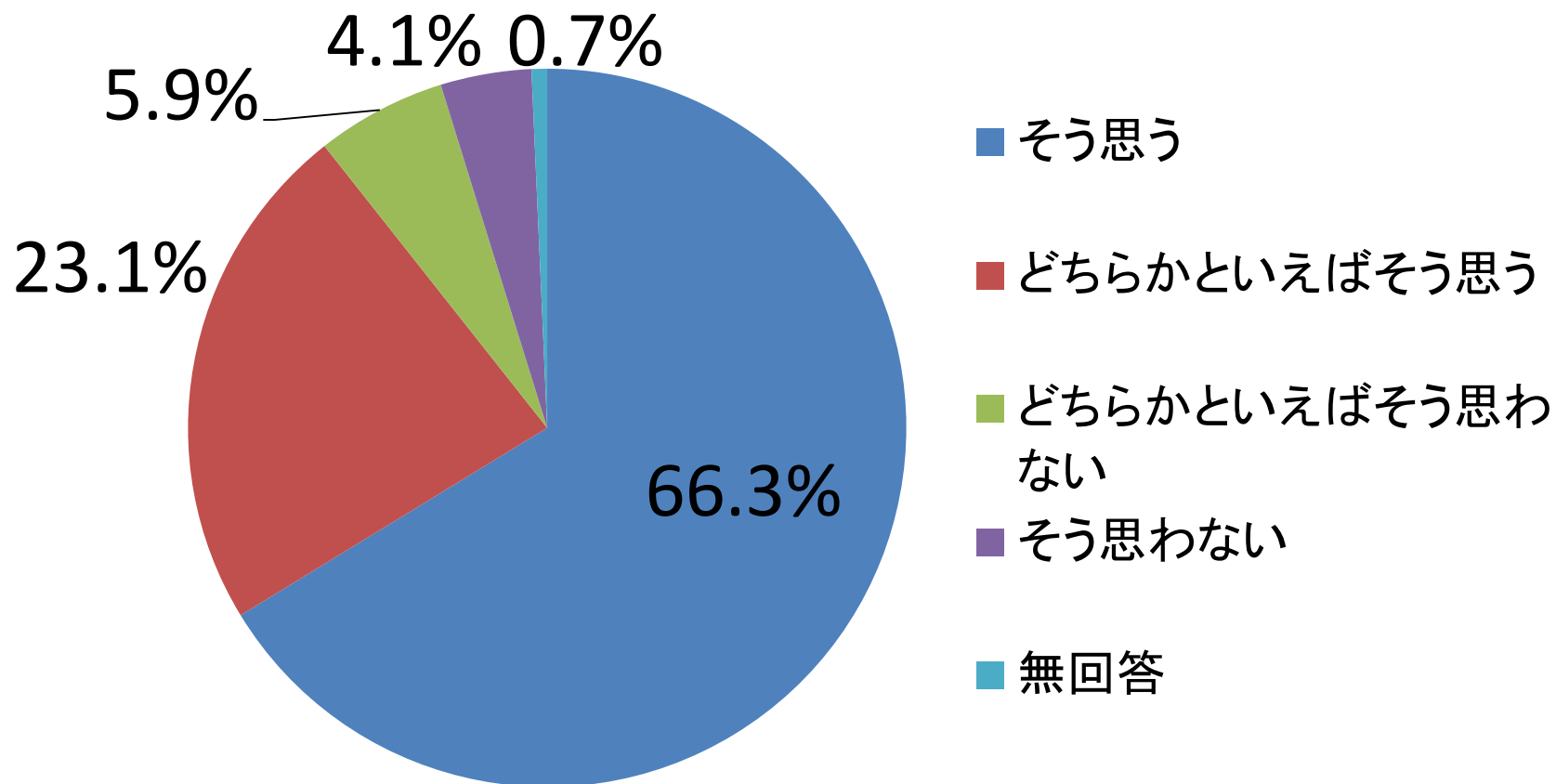
Q. 英語で簡単な会話をすること



## 英語使用意向

89.4%の生徒が、「英語が使えるようになりたい」！

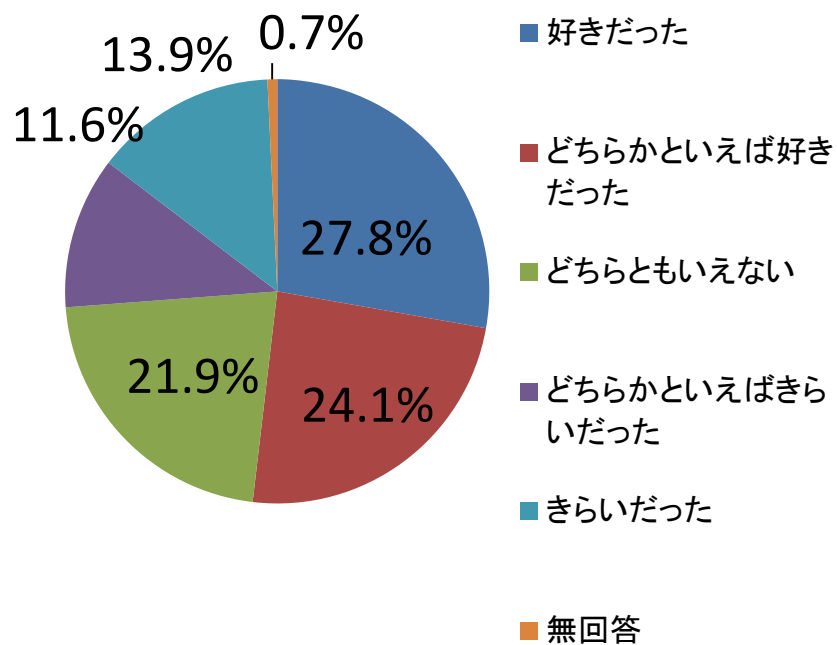
Q. あなたは、英語が使えるようになりたいですか。



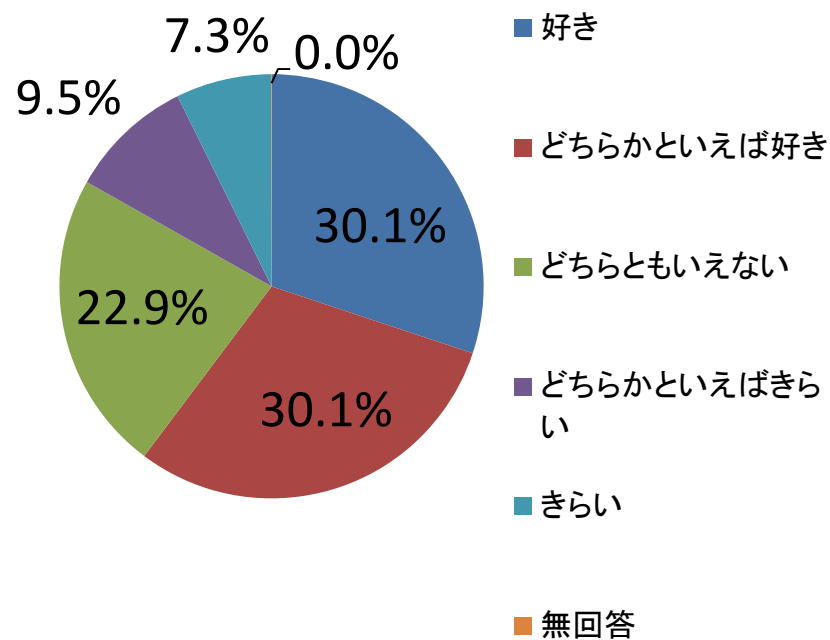
## 英語好意度

中学生になって、英語が好きな生徒が増えている。

Q. 6年生のとき、英語の授業は好きでしたか。



Q. 中学の英語の授業は好きですか。





## 小学校から中学校への接続

- 小学校での活動や教材を**生か**しつつ、**異なるゴール**へと導く！
  - ・単元目標の違い（**CAN-DO**の視点から）
  - ・**達成感**や**成功体験**を重視
    - 「**大変**だけできるようになった！」  
（次なる学習意欲へ）



## 小学校から中学校への接続

### ■ 小・中連携

<行っている中学校区>

H25(実績) 73.2%

⇒ H26(計画) 75.1%

※以下、「英語教育実施状況調査」(H26)より



## 小学校から中学校への接続

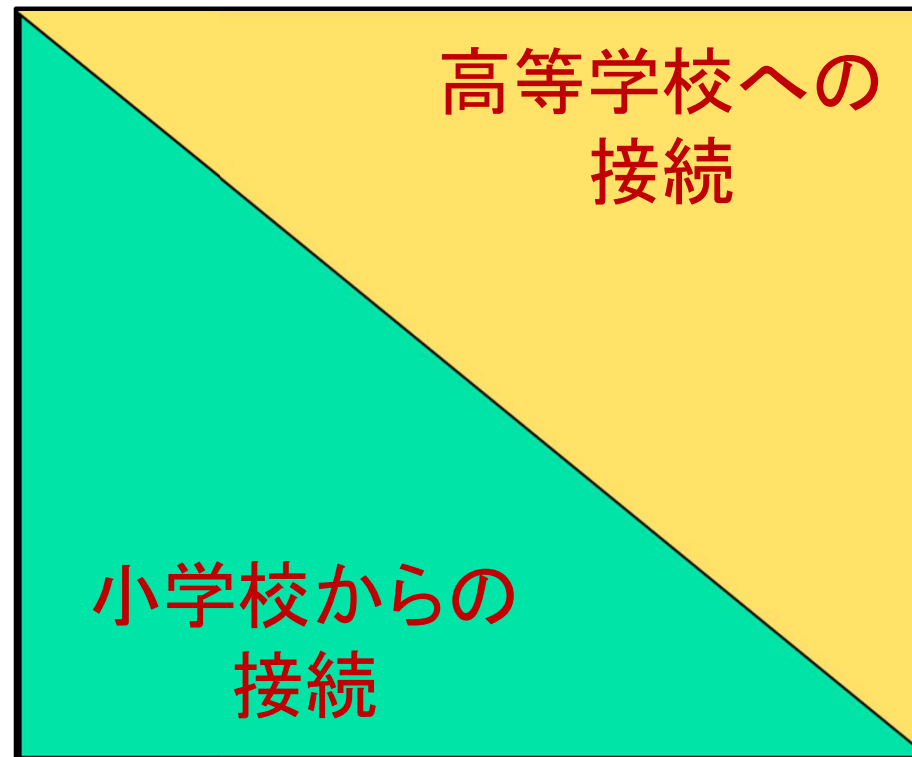
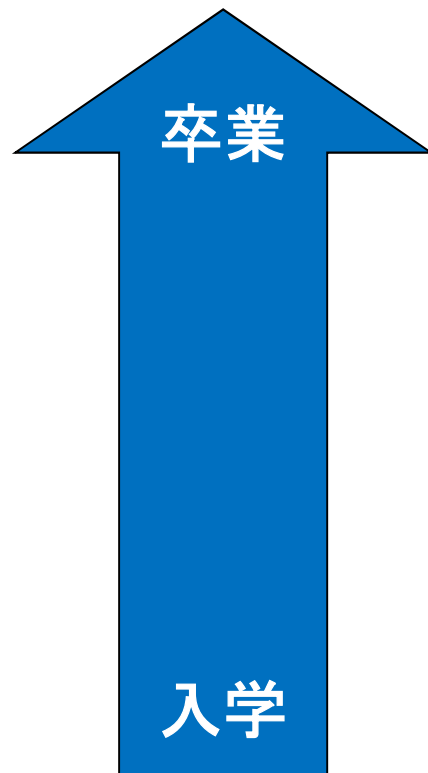
### ■ 小・中連携

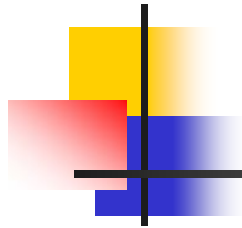
<連携の内容別実施率(H26計画)>

○情報交換	66.3 %
○交流	50.7 %
○カリキュラム連携	13.4 %



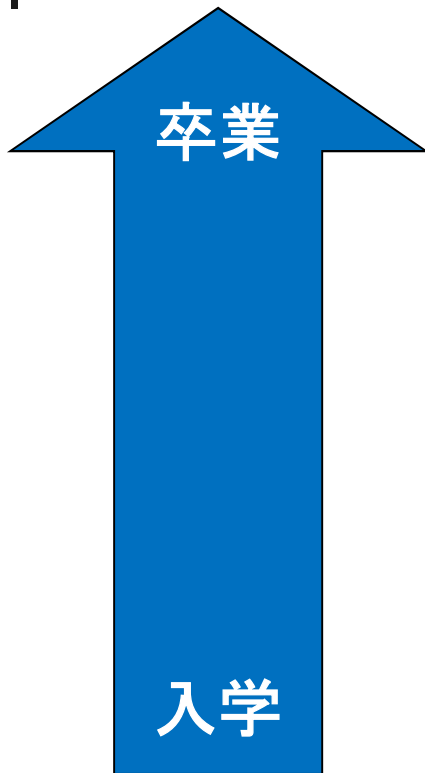
# 接続を意識した授業改善





接続を

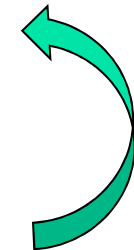
高1 CAN-DOリスト



中3 CAN-DOリスト

中2 CAN-DOリスト

中1 CAN-DOリスト



小5・6 CAN-DOリスト (?)



# 高等学校への接続



- **中学校の立場から**

⇒ **卒業**に向けたゴール設定

(中学校で付けておくべき基礎体力とは?)

- **高等学校の立場から**

⇒ **スタート**を切るためのライン設定

(中学校での学びを生かす視点)

# 高等学校への接続



## ■ 中・高連携

<行っている高校>

H25(計画) 28.7%

⇒ H26(計画) 31.3%



# 公表予定の最新情報

公表済み

- 「英語教育実施状況調査」(H26年度)
  - ・教師及び生徒の英語使用
  - ・CAN-DOの設定や活用の状況
  - ・教師や生徒の英語力 etc.
- 「学習指導要領実施状況調査」(H25年度)
  - ・4技能に係る生徒の実態

新教育課程 3年が経過...

その成果や課題は？

# 課題と考えられること

- 求められる言語活動は？
- 即興で伝え合うとは？
- 教科書本文(内容)の扱いは？
- 単元ゴール(付けたい力)は？

どんな「コミュニケーション能力」？



## 求められる言語活動は？

---

- 情報を伝え合う**必然性**があるか
- 情報を伝え合う際の**相手意識**があるか
- 教科書を素材とした活動か



## 即興で伝え合うとは？

思い切って「補助輪」を  
はずしてみましよう！

- 話す活動の前に**準備**させすぎていないか（**書いてから「話す」**等）
- 「**その場**」で**思考・判断・表現**させる場面があるか
- 正確さよりもむしろ**伝えたい内容**を重視しているか



## 教科書本文(内容)の扱いは？

---

- 1文ごとの意味理解で終わっていないか
- 言語材料が主で、本文は「おまけ」になっていないか
- 教科書本文の内容を材料とした言語活動を設定しているか





## 単元ゴール(付けたい力)は？

---

- **CAN-DO**(英語を用いて何ができるか)の面からゴール設定をしているか
- 語や文法事項等を覚えさせることが主たる目標になっていないか
- 単元末までに**できるようになってい**ることを意識しているか



生徒のどんな姿をイメージ？

# 外国語科における 「思考力・判断力・表現力」 とは？

- 全教科等に求められている**記録・要約・説明・論述・討論**などの言語活動
- それらを**英語で行う**ことが教科の役割
- 「**活用**」との関連
- 「**実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う**」などの活動



# 研究指定校での実践

---

国立教育政策研究所  
教育課程研究センター  
教育課程研究指定校

## =H26 指定校と研究テーマ=

### 北海道弟子屈町立弟子屈中学校

主体的に考えたり判断したりしながら内容を理解する能力の育成

～読むことの目的を明確にした言語活動を通して～

### 高知県大豊町立大豊町中学校

主体的に英文を読もうとする態度の育成

～「話すこと」「書くこと」と関連付けた教材や仲間とのインタラクションを通して～

＝H27年度の公募課題（中学校）＝  
「教科書等の本文で取り上げられて  
いる題材や言語材料を活用し、  
生徒が自分の考えや気持ちを英語  
で伝え合う言語活動を中心に授業  
を展開するための指導と評価に関  
する研究」

鳥取県・山口県の中学校で実践中！

# 指導と評価の工夫

評価から指導を考える

評価したいポイント  
(付けたい力)  
が見えてくれば、  
授業は決まる！



付けたい力が見えないと、授業も  
決まらない(はず)！



# 学習指導案チェックポイント

- #1 単元の**目標**は明確か？
- #2 単元の**評価規準**は妥当か？
- #3 単元を通して**身に付けさせたい力**が見えてくるか？



資料1へ



# Warm-up

ある学校の学習指導案で  
単元の目標が次のように設  
定されていました。どんな  
ことに気付きますか？

# Case 1 (中学2年)



- 動詞の過去形を含む英文の意味を理解する。
- 動詞の過去形を用いて英文を書く。
- 動詞の過去形に関する知識を身に付ける。

# Case 1 (中学2年)



- 動詞の過去形を含む英文の意味を理解する。
- 動詞の過去形を用いて英文を書く。
- 動詞の過去形に関する知識を身に付ける。



# Case 1 (中学2年)



## ■ 動詞の過去形を含む英文の音味を

理解

- 言語材料の定着だけ？
- 言語活動をイメージ？
- CAN-DOにつながる？
- etc.

付録

## Case 2 (中学1年)



- 間違ふことを恐れず, canを用いて第三者についての紹介文を書く。
- 間違ふことを恐れず, 積極的にインタビュー活動を行う。
- canを用いて, 自分や友達ができることを正しく書く。
- 文と文のつながりに注意して, まとまりのある文章を書く。
- まとまった文章を読んで, 大切な情報を読み取る。
- canを用いた文の構造を理解する。

## Case 2 (中学1年)



- 間違ふことを恐れず, canを用いて第三者についての紹介文を書く。
- 間違ふことを恐れず, 積極的にインタビュー活動を行う。
- canを用いて, 自分や友達ができることを正しく書く。
- 文と文のつながりに注意して, まとまりのある文章を書く。
- まとまった文章を読んで, 大切な情報を読み取る。
- canを用いた文の構造を理解する。

## Case 2 (中学1年)



- 間違ふことを恐れず canを用いて第三者についての叙述を書く。

• 何が単元ゴール？  
• 形成的評価 vs. 総括的評価  
etc.

- まとまった文章を読んで、大切な情報を読み取る。
- canを用いた文の構造を理解する。

## Case 3 (中学1年)



- 友達にインタビューしたことを基に、絵本の形で友達の紹介文を書く。
- インタビューにおいて間違いを恐れず話す。
- 三単現を用いた文の構造を理解する。



## 単元で付けたい力は？

- 友達にインタビューしたことを基に、絵本の形で友達の紹介文を書く。**能力**
- インタビューにおいて間違いを恐れず話す。**関心・意欲・態度**
- 三単現を用いた文の構造を理解する。**知識・理解**

# 学習到達目標

話すこと

- ① ...
- ② ...

書くこと

- ① ...
- ② ...

聞くこと

- ① ...
- ② ...

読むこと

- ① ...
- ② ...

各単元で付けたい力 (CAN-DO)

単元 A

単元 B ...

本時

本時

本時 ...

本時

本時

本時 ...

# 学習到達目標

話すこと

- ① …
- ② …

書くこと

- ① …
- ② …

聞くこと

- ① …
- ② …

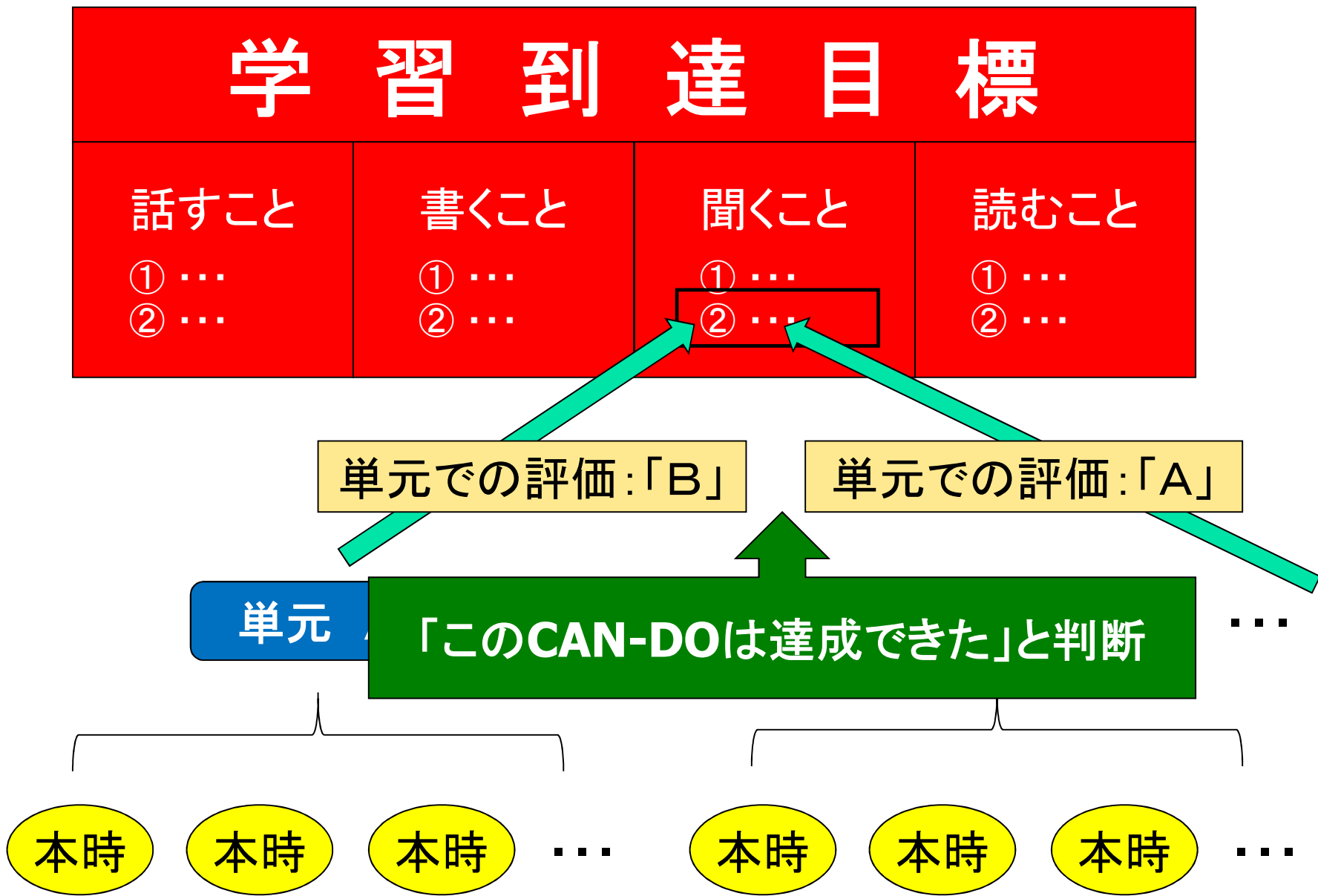
読むこと

- ① …
- ② …

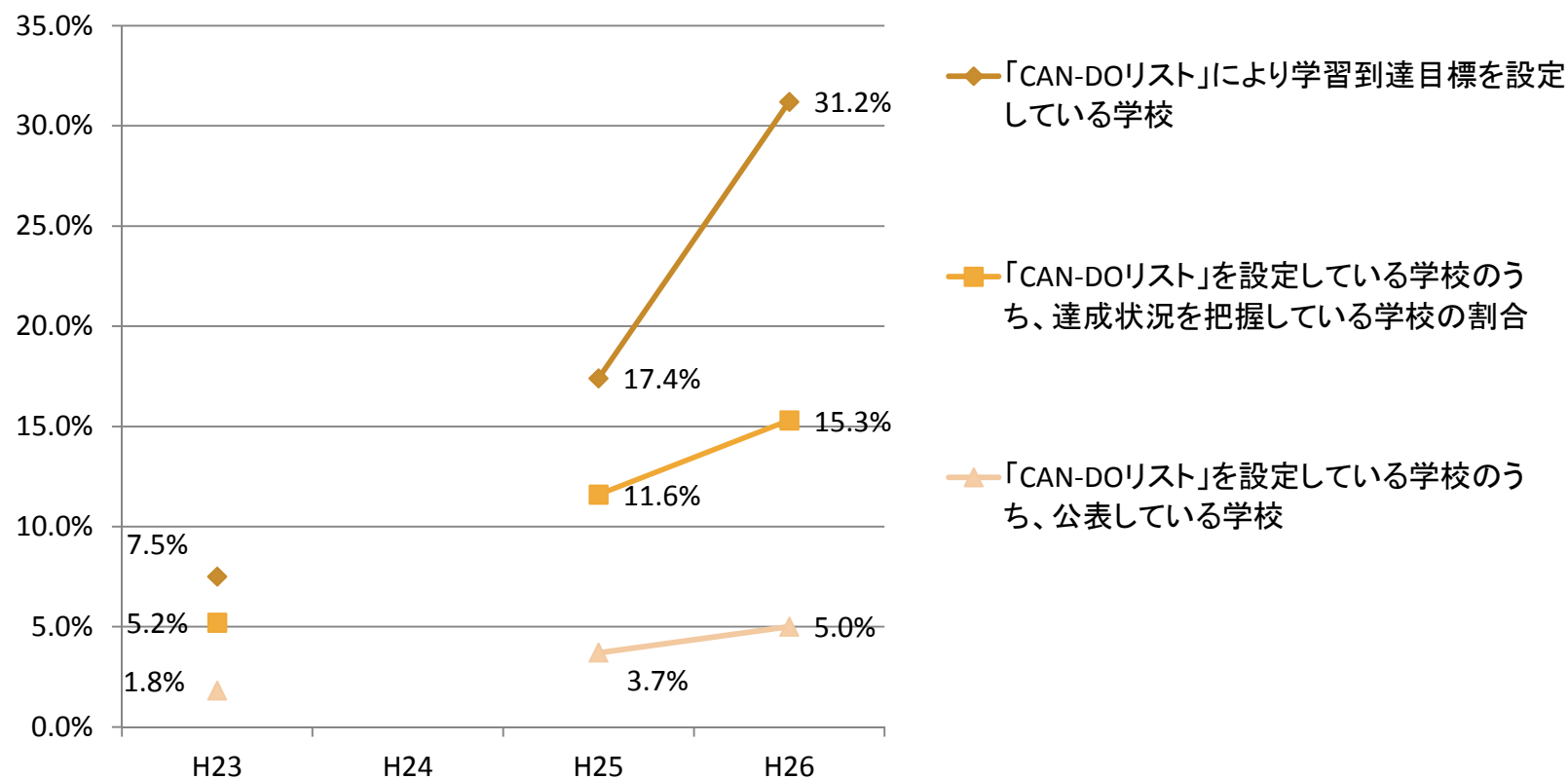
各単元で付け

力(CAN-DO)

## 年間指導計画



# 「CAN-DOリスト」による学習到達目標の 設定・公表・達成状況の把握（現状）





では、単元レベルで  
どう工夫するか？



## 単元レベルでは・・・

---

☆「評価資料」を活用！

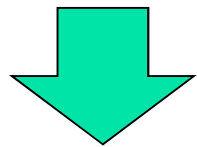
『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校外国語】』（平成23年 国立教育政策研究所教育課程研究センター）

⇒特に pp.31-32をご覧ください！

# 指導と評価の工夫

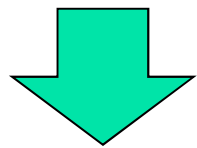
資料 2 へ

- 本単元の指導に当たっての**考え方**



(単元観:**付けたい力**)

- 単元の**目標**



- 単元の**評価規準**

p.31!







## 指導と評価の計画



p.32!

- 授業のねらいの焦点化・明確化
- 1時間ごとに絞り込まれた評価規準
- ねらいに対応した評価規準の設定
- 適切な方法による評価

# 英語教育ポータルサイト「えいごネット」について

## ○英語教育ポータルサイト「えいごネット」

<http://www.eigo-net.jp/>

<コンテンツ例>

### (1)教材・素材を探す

- やさしく読める英語ニュース
- 世界で活躍する人々のインタビュー
- 映像教材
- 聞く活動、話す活動、読む活動、書く活動の教材

活動ベースでの教材探し!

### (2)事例・指導案を探す

- 文部科学省公式サイトの掲載資料  
(例)Hi, friends!の指導案、授業実践DVDの指導案
- 教育委員会等で掲載している指導案

学校種別に検索可能!

### (3)教育のいまを知る

- 教科調査官等、専門家のインタビュー
- 都道府県・指定都市教育委員会による取組紹介  
(リレー連載)
- 留学関連情報
- 大学の取組(英語を使って専門的な学びを広げる)

実践に活かせる情報  
留学・大学での学びを知る!

### (4)指導力を向上させる

- 各種研修会情報
- 教育ニュース

自己研鑽に励む!

### (5)生徒の学習意欲を高める

- 世界で活躍する人のインタビュー
- 生徒向けイベント
- 海外勤務経験者の出張授業
- 英語に関する試験情報

モチベーションを高める!

- ◆「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」を受けて、主に英語教育を担う教員を対象として情報提供を行うポータルサイトを開設
- ◆文部科学省の協力の下、(財)英語教育協議会(ELEC)が運営

英語教員のための情報提供を目的としたポータルサイト「えいごネット」概要

- ◆サイト名: えいごネット <http://www.eigo-net.jp>
- ◆運営団体: 一般財団法人 英語教育協議会(ELEC) [文部科学省初等中等教育局国際教育課 協力]
- ◆開設日: 2012年7月2日(月)

英語教育協議会 [文部科学省 協力]

えいごネット EIGO-NET  
現職英語教員のためのポータルサイト

EIGO-NET aims to assist English teachers in obtaining useful information.

Top Easy Reading for Students News & Events Topics Information

教材として授業で使える英語ニュース

生徒のモチベーション向上に

教育についての情報収集に

指導力・授業力向上のために使える指導案や教材のリンク集

自己研鑽に励む!

モチベーションを高める!